三陸国道事務所

前例にとらわれない協議調整によるコスト縮減

【田老普代工区】

➢ 河川付替を粘り強く協議調整，橋梁から土工への変更を実現

気づき

・現計画の課題である桁高制限，国道線形の悪化に対して，**橋梁から土工へ構造変更**することにより，課題解消できることに着目

≪実現のための課題≫

・河川管理者と河川付替の協議調整

気づきを踏まえた取り組み

・合意形成に時間を要する河川付替について，道路構造の効率化，河川の一部改修等メリットを説明し，粘り強く協議調整

・河川管理者と7回打合せ（１．５ヶ月）の協議調整により、盛土への構造変更と河川付替形状を確定

効果

◆ 約1．4億円のコスト縮減（９．１→7．７億円）

◆ 結果として，付替国道の平面線形改善（　最小R=60m→100mに改善，V=50km/h確保　）



